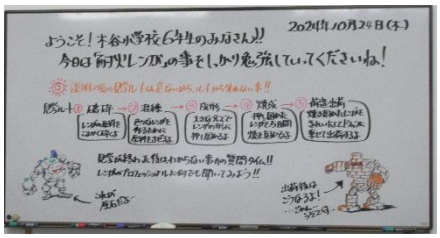
木谷小学校　コミュニティスクールだより　　令和６年10月27日発行　第42号

# 木谷の風

コミュニティ・スクール推進員　福田　みき

## 総合的な学習の時間からの学び！

### 【6年生　昭和KDE株式会社見学　10月24日（木）】




６年生は，【木谷で作られていた煉瓦について，一人一人が課題を持って追究し，みんなに伝えることができる】という総合的な学習の時間の目標があります。今は姿を消してしまった木谷の煉瓦工場ですが，歴史を調べたり，実際に作られている煉瓦工場を見学したりして煉瓦に思いをはせるように学習を進めていきます。

昨日，午後１時に学校をスタートして昭和KDE株式会社に見学に行きました。

まず，会議室に案内されると部屋のホワイトボードに視線がいきました。そこには，「ようこそ木谷小学校の６年生のみなさん。『耐火レンガ』のことしっかり勉強していってくださいね。」と書かれていてしっかり学ぼうという思いが一層強くなりました。

耐火煉瓦の原料は岩石で，長崎の五島列島から運ばれてきていました。色彩によっては海外からの輸入もあるそうです。それらを砕き，粉にして練ります。次に，プレス機にかけて成型していきます。プレス音や振動が立っている床にもしっかりと感じることができました。そして，1200度で５日間焼き固められます。１日に１万個以上の煉瓦が出来上がり，出来上がった煉瓦を人間の視覚で不良品がないか確かめて荷造り・出荷されていました。幅の広いサランラップのようなものが機械を使ってぐるぐる巻きにされていました。ちょうど大きなトラックが扉を開けて荷が積み込まれるのを待っていました。全国に運ばれるそうです。

ここの工場では，５種類で５色の耐火煉瓦が製造されています。また，鉄を溶かした大きな窯に張り付けられるように台形の形になっているのを実際に見て触れさせてもらいました。

お客さんのニーズに応えて生き残るための工夫と努力をなされていました。働くためには，社会情勢を考え責任と協力が重要だと改めて学んだ見学でした。これからの学習に活かしていきたいと思います。